

くら

- SAKURA -

2017. 6. 1 NO.53

3月定例会の内容を中心にお伝えします。

特集

議会人事



11番 林 忠正 議員	12番 田中 憲次 議員	13番 藤田 俊雄 議員	14番 山田 武豊 議員	15番 徳原 光治 議員	16番 佐々木 雄三 議員	17番 井上 佐智子 議員	18番 松本 太郎 議員	19番 大畑 美紀 議員	20番 高橋 みさ子 議員	21番 栗栖 俊泰 議員	22番 細田 勝枝 議員	23番 堀田 憲幸 議員	24番 角田 俊司 議員	25番 岡本 敏博 議員	26番 有田 一彦 議員	27番 小泉 敏信 議員	28番 仁井田 和之 議員
-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	---------------	--------------	--------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------

(後列)

1番 隅田 仁美 議員	2番 北野 久美 議員	3番 山口 三成 議員	4番 大崎 勇一 議員	5番 枇杷木 正伸 議員
-------------	-------------	-------------	-------------	--------------

(前列)

6番 新田 茂美 議員	7番 石塚 宏信 議員	8番 中島 康二 議員	9番 荻村 文規 議員	10番 広畑 裕一郎 議員
-------------	-------------	-------------	-------------	---------------

改選後の議席

廿日市市議会では、議席順は、期数の少ない議員から並ぶように定められています。(同期数の場合、くじなどで決定)

CONTENTS

臨時議会（議会人事）	P2
新年度予算	P6
主な議案	P8
代表質問	P10
一般質問	P12
議決結果	P15
全員協議会・委員会報告	P16
請願・意見書	P17
次回定例会の予定	P18

臨時議会

廿日市市議会の体制が決まる

3月26日に執行された廿日市市議会議員一般選挙において、28名の議員が新たに選出されました。

改選後初めての臨時議会が4月6日に開会され、正副議長や各常任委員会などの人事が決まりました。正副議長選はともに選挙となり、投票の結果、議長に仁井田和之議員、副議長に堀田憲幸議員が選出されました。選挙の結果は次のとおりです。

議長選挙

仁井田和之	議員	15票
枇杷木正伸	議員	6票
徳原光治	議員	5票
堀田憲幸	議員	1票
大畑美紀	議員	1票

副議長選挙

堀田憲幸	議員	16票
栗栖俊泰	議員	11票
大畑美紀	議員	1票



堀田 憲幸 副議長



仁井田 和之 議長

また、本臨時議会では、国の法改正に伴う市税条例の一部改正など3件の専決処分を承認し、損害賠償の額を定めることについて1件の報告を受けました。

正副議長あいさつ

市民の皆様には、平素より市議会に対して、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、私たちは議長並びに副議長に就任いたしました。職務の重要性を肝に銘じ、専心努力してまいります。

さて、本市は今年、市制施行30年目を迎え、平成の合併後10年余りが経過いたしました。様々な社会情勢の変化の中、本市を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。なかでも人口減少の克服や、中山間地域の活性化などは喫緊に取り組むべき課題です。

市議会は、市民の皆様の負託に応え、すべての人が幸せに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、その果たすべき役割を十分認識し、活動してまいります。

今後とも、市議会の活動についてご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

議長 仁井田 和之
副議長 堀田 憲幸

会派紹介

(届出順 5月16日現在)

新政クラブ

代表	田中 憲次
	新田 茂美
	佐々木雄三
	井上佐智子
	松本 太郎
	岡本 敏博
	有田 一彦
	仁井田和之

日本共産党市議団

代表	大畑 美紀
----	-------

成蹊21

代表	高橋みさ子
	広畑裕一郎
	林 忠正
	徳原 光治
	栗栖 俊泰
	小泉 敏信

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会を円滑に運営するために設置され、3人以上の所属議員を有する各会派から選出した委員で構成しています。

（公党の場合は2名以上）
年4回開催される定例議会の開催日程の調整、本会議の進行の確認などを行います。



委員長

岡本 敏博

副委員長

中島 康二

枇杷木 正伸

新田 茂美

荻村 文規

広畑 裕一郎

山田 武豊

松本 太郎

栗栖 俊泰

細田 勝枝

予算特別委員会

委員長

田中 憲次

副委員長

山口 三成

（予算特別委員会は、議長を除く全議員で構成されるため、その他の委員については省略します。）

その他の議会選出議員・委員

宮島競艇施行組合議会議員

佐々木 雄三

高橋 みさ子

細田 勝枝

角田 俊司

（4月6日に組合議会臨時会が開かれ、組合議会議長に高橋議員が選出されました。）

広島県後期高齢者医療

広域連合議会議員

井上 佐智子

廿日市市監査委員

小泉 敏信

クラブ進風

代表

角田 俊司

石塚 宏信

荻村 文規

藤田 俊雄

山田 武豊

クラブみらい

代表

中島 康二

北野 久美

山口 三成

枇杷木 正伸

堀田 憲幸

公明党

代表

細田 勝枝

隅田 仁美

大崎 勇一

会派とは、市政に関して同じ考え方や意見を持っている議員のグループを示します。

文教厚生、環境産業、建設の4つの常任委員会があります。各議員は必ずいずれかの委員会に
(28年度までは3常任委員会でしたが、29年度から4常任委員会に変更しました。)

総務常任委員会

行政一般、財政及び消防に属する事項のほか、他の委員会に属さない事項について審査するとともに、調査、研究を行います。



委員長

広畑裕一郎

副委員長

新田 茂美

大崎 勇一

中島 康二

山田 武豊

高橋みさ子

岡本 敏博

文教厚生常任委員会

教育、文化及び厚生に属する事項について審査するとともに、調査、研究を行います。



委員長

栗栖 俊泰

副委員長

石塚 宏信

隅田 仁美

北野 久美

田中 憲次

徳原 光治

松本 太郎

常任委員会は、議案等をくわしく審査するために設置されており、廿日市市議会には、総務、属さなければなりません。

環境産業常任委員会

商工、経済、産業、観光、衛生及び公害に属する事項について審査するとともに、調査、研究を行います。



委員長

井上佐智子

副委員長

荻村 文規

山口 三成

佐々木雄三

細田 勝枝

堀田 憲幸

小泉 敏信

副委員長

委員長

建設常任委員会

土木、建築、建設事業一般、建設計画及び水道に属する事項について審査するとともに、調査、研究を行います。



委員長

枇杷木正伸

副委員長

大畑 美紀

林 忠正

藤田 俊雄

角田 俊司

有田 一彦

仁井田和之

副委員長

委員長

税金の使い道が決まりました

一般会計予算

498億1000万円

総 額

873億6877万円

市長から29年度の予算案が出され、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会において、皆さんから納めていただく税金の使い道を審査しました。歳出においては、修正案が提出されましたが、委員会、本会議で賛成多数により、全ての予算案は原案どおりに可決しました。

会計別予算額

(単位:円、%)

区 分		平成29年度	前年比
一 般 会 計		498億1000万	5.7
特 別 会 計	国民健康保険	148億9226万	0.5
	介護保険	94億8105万	▲0.6
	後期高齢者医療	14億7576万	3.4
	漁港管理	1973万	▲9.9
	公共下水道事業	54億7611万	0.9
	小規模下水道事業	1億5593万	▲9.9
	墓地管理事業	3202万	▲13.7
	簡易水道事業	4億 813万	▲60.3
	農業集落排水事業	3265万	▲0.1
	港湾管理事業	3386万	2.7
	市営住宅事業	6億8688万	40.3
	宮島水族館事業	9億1336万	▲0.6
	廿日市駅北 土地区画整理事業	0	▲100.0
	小 計	336億 779万	▲1.5
企 業 会 計	水道事業	39億 961万	0.4
	国民宿舎事業	4136万	9.0
	小 計	39億5098万	0.5
合 計		873億6877万	2.6

29年度予算は、景気の緩やかな回復により市税収入の増加が見込まれる一方、合併算定替えの段階的縮減により地方交付税が減少することが予想されます。今後は、限られた財源を有効に活用して、地域との協働によるまちづくりを進めていく必要があります。今回の予算は、すべての市民が心豊かで、住み続けたいと実感することのできる、市民主体のまちづくりを着実に推進できるよう、予算組みされています。

歳入の主な見込み（前年比）

個人市民税…景気の緩やかな回復に伴う所得増で、2.9%（約1億7688万円）増加。
法人市民税…企業業績の上昇が見込まれることから13.8%（約1億450万円）増加。
固定資産税…家屋の新増築や設備投資に伴う償却資産の増加などの影響によって3.1%（約2億1652万円）増加。
地方交付税…地方交付税（普通交付税・特別交付税）と臨時財政対策債の合計で、2.1%（約2億2300万円）減少。

歳出の主な見込み（前年比）

義務的経費…法令で義務付けられている経費は公債費が減少した一方、人件費や扶助費の増加により1.3%（約2億7645万円）増加。
投資的経費…大野浦駅周辺事業、廿日市駅通り線（駅前広場）整備事業が減少した一方、一般廃棄物処理施設事業、畑口寺田線4工区事業、小・中学校のリニューアル事業、小中一貫校施設整備事業が増加したことで、52.5%（約35億664万円）増加。



【事業名】中学校リニューアル事業
【事業費】2億6806万6千円
【内 容】学校施設の老朽化対策として、阿品台中学校屋内運動場の大規模改修工事を行います。また、トイレの洋式化に取り組むとともに、空調設備の整備を行います。



【事業名】生活困窮者
自立支援事業
【事業費】2075万3千円
【内 容】生活困窮者に包括的かつ個別的・継続的な支援を行う事業を実施するとともに、「子どもの学習支援事業」の実施箇所を増やすなど、生活困窮者の自立支援策の充実を図ります。



【事業名】中山間地域振興事業
【事業費】1億2120万5千円
【内 容】将来に希望を持ち、安心して心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域の振興に向けて、地域支援員の配置や学校跡地の活用、さらに佐伯高等学校の魅力化支援などに取り組みます。



【事業名】スポーツ振興事業
【事業費】40万7千円
【内 容】2020東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンや事前キャンプ地の誘致に取り組み、市民とアスリートとの文化・スポーツ交流により「東京2020」の気運を高め、オリンピックレガシーへつなげます。



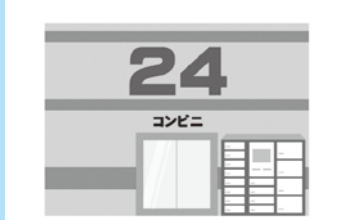
【事業名】公園整備事業
【事業費】1500万円
【内 容】交流人口の拡大と中山間地域の活性化をめざし、佐伯総合スポーツ公園の利用者の増加を図るため、子どもや家族連れなど、多世代が楽しめる大型複合遊具の整備に向け、実施設計を行います。



【事業名】産後ケア事業
【事業費】663万5千円
【内 容】出産前後の心身の不調や孤立からなる育児不安をサポートするため、いくつかの新たな事業に取り組み、安心して出産や子育てができる環境づくりを行います。



【事業名】耐震改修促進事業
【事業費】650万円
【内 容】木造住宅の耐震化を促進するため、耐震改修工事費用の一部を補助します。また、木造住宅密集市街地で重点的に耐震化すべき区域においては、補助制度の拡充を行います。



【事業名】戸籍住民基本台帳
一般事業等
【事業費】187万8千円
【内 容】市民の利便性向上を図るため、住民票の写しや、印鑑証明書などの証明書等を全国のコンビニエンスストアで取得できるコンビニ交付サービスを開始します。



【事業名】公共施設維持
管理事業
【事業費】2600万円
【内 容】公共施設の効率的・効果的な管理運営を行うため、保育園、小・中学校など72施設を対象とした公共施設の維持管理包括的民間委託を実施します。

上記事業は平成29年度当初予算案の概要より抜粋

● 3月定例会 ●

廿日市市の

こんなことが決まりました

会期27日間 2月16日～3月14日

今回の議案は

原案可決

(議案44件、発議4件)

..... 48件

同意 1件

報告 2件

請願採択 2件

請願不採択 2件

計55件

今号では
この中から
3つを

Pick up

〈議案第1号〉 29年度一般会計予算

Pick up 1

映像モニターを議場へ設置

一般質問などの議場でのやり取りが、傍聴者に明確になるよう、議場内に映像システムの整備を行います。

これは議会改革の一環として行われるもので、質問の際に使う資料や写真などの映像を、モニターやスクリーンに大きく映し出すことができます。

これまで使用が許可されていたパネルなどでは、質問者や執行部の一部しか見えない課題がありましたが、傍聴者の方にも優しい議場となります。

議場映像システム整備工事 1154万5千円

仕様

- 大型スクリーン (170インチ) 1台
- 対応プロジェクター 1基
- 液晶モニター (55インチ) 2台



〈議案第17号〉 農業委員会委員等の定数に関する条例

Pick up 2

農業委員を任命制に変更

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、これまで、選挙により行われていた農業委員の選出を任命による選任に変更し、定数を18人から14人に減員します。

また、地域の声を聞きながら耕作放棄地の増加を抑制して農地を守る目的で、農地利用最適化推進委員（13人）を新たに設置します。



反対討論

農地利用最適化推進委員は全く権限も異なり、農業委員の減少を補えるものではない。農業政策の弱体化を招くような条例には反対である。

賛成討論

農地利用最適化推進委員の設置は、農地減少への対策が強化されると考え賛成である。

〈議案第22号〉 特別会計条例の一部を改正する条例

Pick up 3

事業完了を見込み 特別会計を廃止

13年から始まった廿日市駅北土地区画整理事業は、23年に特別会計を設置し、JR廿日市駅北側の交通アクセスや住環境を大きく改善しました。換地処分に伴う清算も概ね完了したことを受け、特別会計の役目を終了して廃止となります。

換地処分とは

土地改良や区画整理のために、土地の権利関係が変わった場合、元の土地の代わりに他の土地を与えたり、金銭をもって清算する行政処分。



こんな質問が出ました

Q 保留地の4区画の処分予定はどうか。

A 2区画は29年度に売り払う予定だが、残りは都市計画道路佐方線の作業ヤードとして、事業完了まで処分を見合わせる予定である。

議員の

Q

&

市の
A



代表質問

代表質問とは？

会派の代表が、市長の施政方針を問います。
代表質問は年1回、各会派の1名が行います。
※会派…同じ理念をもつ議員の集まりです。

質問議員5名 質問16項目

※各議員の質問中、一問のみを掲載しています。
その他の質問については、会議録・廿日市市
議会ホームページでご覧いただけます。

子育て支援・佐伯 高校存続について



新政クラブ
井上 佐智子 議員

Q 子育て支援等については、本市の定住促進策の一環として位置付け、本市の独自性を打ち出すべきだ。

A 子育て世代をはじめとした、生産年齢人口の増加促進を図ることを定住施策の基本的な考え方としている。乳幼児医療の無料化と助成対象者の拡大、放課後児童対策の充実に取り組んでいる。新年度から子育て応援室「ネウボラはつかいち」を設置する。貧困対策については就学援助、生活困窮世帯の子どもの学習支援の充実を図っている。県立佐伯高校には、新たに地域支援員設置と、地域外からの通学者の通学費一部補助を進め、更に中山間地域の振興施策として自治振興部に専任部署を設置することとしている。

その他の質問

- ・ 財政状況と予算編成について
 - ・ 宮島口地区のまちづくりについて
 - ・ 地域医療拠点等整備事業について
- ほか2件

自主財源の 確保について



クラブ進風
角田 俊司 議員

Q 宮島の観光事業は市の投資に見合う税収が上がっていない。島内のトイレ数では現観光客の半分程しか対応できない宮島で、新設「おもてなしトイレ」を一日100円の有料で設置すれば、少なくとも年4千万円の収益が見込まれる。400万を越える観光客により島内人口の20倍のゴミが発生する島だからこそ、その予算が必要となる。市は自主財源確保をする気があるのか。

A 宮島のトイレ整備は、一流の国際観光拠点とするために早く進めなければならない課題である。中之島のトイレについては、満足度を高め、ブランド力を向上させるために無料で提供したい。財源確保は他の方法も併せて検討していく。

その他の質問

- ・ 農業と福祉の連携について
- ・ 防災力の向上について

障がい児保育への 市の対応は



成蹊会
栗栖 俊泰 議員

Q

保育園の民営化が計画される中、市も課題として認識されている、障がい児保育への対応と考えについて問う。

①民間保育園での受け入れに対し、市はどのように取り組んでいるのか。

②医療的ケアが必要な子どもが、保育園に受け入れてもらうために基準はあるのか。

A

①民間保育園での障がい児保育を支援するために、入所指導委員会で決定された加配保育士の雇用に係る賃金等について、市が補助を行っている。
②受け入れ基準は定めてはいないが、医療ケアが必要な子どもについても、入所指導委員会で集団保育が可能と判断された場合、看護師等の配置も含め可能な限りの対応を行っている。

その他の質問

・中山間地域の振興について
・地域公共交通再編実施計画について

本市の緊急医療 体制の課題を問う



クラブみらい
枇杷木 正伸 議員

Q

新年度の施政方針には、地域医療等の拠点整備をめざし、医療・福祉及び都市機能の導入に向けて、関係機関と調整を図りつつ、基本計画を策定するとあるが、本市の緊急医療体制の現状と課題を問う。

A

J A 広島総合病院では、昨年10月より基本構想の策定作業に着手しており、病院の運営方針や今後果たすべき役割、将来構想等の検討を行っている。来年度より開催する外部委員会等において、病院を含めて、導入機能についての協議・調整を行い、平成30年度末、もしくは、平成31年度の事業着手を目指し、取り組んでいるところである。

その他の質問

・誰もが安心して生活できる地域づくりの取組みについて

「安全で安心なまちをつくる」について



公明党
砂田 麻佐文 議員

Q

「災害に対する備えの充実」の取組みの中で、次の点について問う。公道等、地域的に密集した箇所の対応で、たとえば電線の地中化はどのように考えているか。

A

電線類の地中化については、交通結線点となる駅への幹線街路などについて、その整備に合わせ、安全で快適な通行空間の確保、都市防災の強化、情報通信ネットワークの向上、都市景観の向上などを目的に整備しているところである。

この方針のもと、現在、廿日市駅の広電軌道から駅前広場について、地中化を進めているところであり、また、国道2号から広電軌道までの区間について将来、地中化できるようスペースを確保している。

その他の質問

・「人を育む」について



議員の

Q

&

市の
A



一

般

質

問

一般質問とは？

市の行う一般事務について議員が質問します。
皆さんの生活にかかわる大切な質問です。
あなたが関心をもった質問はありますか？

質問議員10名 質問21項目

※各議員の質問中、一問のみを掲載しています。
その他の質問については、会議録・廿日市市
議会ホームページでご覧いただけます。

団地開発と土砂法の 整合性は



林 忠正 議員

Q

現状での大型団地の開発と土砂災害防止法との整合性については運用上問題ないのか。

A

本市では開発行為の相談があった時点で開発担当部局から広島県の土砂災害防止法担当部局に対して情報提供している。とともに、開発行為の計画段階においては、申請者に対し土砂災害防止法担当部局と協議を行わせ、開発区域に特別警戒区域を含めないようにしている。そして特別警戒区域を解除するための対策工事を実施することを検討させることにしており、双方の部局が緊密な連携を図り、運用上の齟齬をきたさないよう努めている。

その他の質問

- ・ごみ減量化出前講座等の周知活動の成果と今後の課題はどうか
- ・祝日の市民センターや市民活動センターの運営はどうか

保育園民営化の 危機管理への対応は



小泉 敏信 議員

Q

市の保育園の民間移管計画が提示されたが、保護者の不安は大きと感じる。例えば、移管先の民間保育園が倒産や撤退すること、その際の子どもたちへの具体的対応について問う。

A

市の認可保育園が、突然の倒産や撤退につながることはないよう、指導監査体制の更なる充実を図っていきたい。
万が一、急な撤退事案や災害等で民間の保育施設が使用できなくなった場合には、直ちに保育実施できるよう、公立保育園の遊戯室を活用し、そこで保育を行い、保育士は使用できなくなった保育園の保育士を市が臨時に雇用するなどして周辺の公立保育園を中心に市全体の保育所において対応を考えていきたい。

その他の質問

- ・教職員が子どもたちと向き合える時間を確保できる施策について
- ・市の補助金の見直しについて

高齢者の安心できる 環境整備を



山田 武豊 議員

Q

少子高齢化の進展に伴い、今後は支える側が減少する社会状況である。高齢者のかたの安心と必要なサービスの提供を考えるならば、今以上の効率化と環境整備を考えるべき。他市の事例にもあるが、高齢者専用住宅を整備することで、効率的効果的にサービスを提供できるのではないかと考える。当局の所見を問う。

A

29年度は30〜32年までを計画間とする高齢者福祉計画及び、第7期介護福祉計画を策定していくこととしている。この中で、住宅施策としても、高齢化社会に対応した住宅供給について検討することとしており、高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいきたい。

その他の質問

・職員旅費の実費制度への改正について

どうする 中山間地域の振興を



岡本 敏博 議員

Q

①中山間地域の振興に総力を挙げて取り組むとあるが、具体的な事業について問う。
②新機能中山間地域開発事業への挑戦はどうか。又、定住促進のために、中山間地域への住宅整備を、計画すべきではないか。

A

①佐伯高校の魅力化や農業活性化のため、地域支援員を配置する。旧浅原小跡地は、多目的広場や地元農産物の販売など、交流拠点の整備を図る。佐伯総合スポーツ公園に、大型複合遊具の整備を行う。これらを進める専門部署を佐伯支所に設置する。
②更なる開発の必要性が生じた場合、開発の是非も含め総合的に判断する。定住促進につながる施策を住宅整備計画に盛り込むよう検討する。

その他の質問

・スポーツ振興基金条例の制定について

活かせ佐伯総合 スポーツ公園



堀田 憲幸 議員

Q

国は、人口減少社会の中で、地域ごとに資源を活かしたまちづくりを求めている。本市の中山間部振興と地方創生の関係はどうなるのか。

A

交流人口の拡大など戦略的・攻略的な取組を進め、振興施策を推進する専任部署を佐伯支所に設置、スピード感を持って実効性に繋げたい。
さらに、佐伯総合スポーツ公園内に大型複合遊具を整備し、新たな交流スポットとして、市内外からの人の流れを創っていきたい。

Q

市長、大型複合遊具とはどのようなものか。

A

自然と関わって公園一帯にどのような遊具を設置・施設の整備をしたら交流人口が図れるか、そういう観点から強い気持ちを持って整備したい。

大野西部地域の 活性化を



中島 康二 議員

Q

大野西部地域（9・10区）の市民の生活・文化圏としては、距離的に近い大竹市を利用している。そこで

A

①大野西部地域の活性化
②地域公共交通再編計画
には、地域の状況や住民の意見を組み込むようにしているのか問う。
①地域固有の資源を生かした観光・交流の推進と地域で異なる実情を十分に踏まえ、各区との対話を重ねながら、西部地域の活性化に向けて、取り組んでいきたい。
②おおのハートバスの運行見直しの際には、利用実態や移動ニーズの検証と併せ、住民の意見や地域との調整を踏まえる他、大竹市との連携を図り、使いやすい運行に向けた検討を行いたいと思っている。

その他の質問

・住居表示について

大型土地開発造成地 拡大 大丈夫か



高橋 みさ子 議員

Q 12月までに着手するか否かの判断をするとか束縛していたが、遅れたのはなぜか。

A 市内企業の立地にかかる希望を把握した結果、民有地を買収し、造成面積を10haから12haに広げ、先行事業とするため、造成計画、道路配置を見直す必要が生じた。

Q 市内11社の移転希望があると聞いている。その2社は公共事業による立ち退きで移転意向は確実だが、残りの9社の移転は確実なのか。造成面積を広げる理由は。

A 市内企業11社の希望面積を造成面積とし拡大した。市内企業だけで埋まるかは、今後の情勢等で不透明ではあるが、市内企業のニーズ面積は確実に確保しようと考えた。市外からも希望する企業がある。

その他の質問

・屋外広告物について

公立保育園は公立 のままで維持を



植木 京子 議員

Q 請願署名を受け、市は公立保育園の廃止・民営化計画・構想を1年先送りにしたが、3月に確定するという。納得できないという署名は1万2千以上となった。国から公立保育園への補助が削られたと市はいうが、国は財源手当てをしており耐震対策も可能。「福祉の向上」が市の本来の仕事。3月の確定はやめ公立保育園は公立のまま継続すべきだ。

A 市民が幸せに暮らせるまちづくりを掲げ、豊かさや活力あるまち、子どもたちの笑顔あふれるまちをイメージし、その基盤となる住まいと仕事の提供が必要である。保育園はその下支えとなるサービスで、ニーズを満たすよう整備をする。「構想」内容を3月に確定し広く周知している。

その他の質問

・米海兵隊岩国基地の影響について

ニーズに応える 保育の量的拡大を



広畑 裕一郎 議員

Q 市は保育ニーズに対応するとしているが、年度途中は待機児童が常態化し、保護者ニーズに整備が追い付いていない。

特に子育て世代が急増する大野地域は、深刻な受け皿不足になると危惧している。このことから①待機児童の状況②解消スケジュールを問う。

A ①28年4月時点の本市の待機児童は0人であるが、10月には22人と保護者ニーズに応えきれいていない。私的待機は41人と減少傾向にある。
②28年度の公募で廿日市地域は民間1園が開設準備中、大野地域は応募が無く、この度、再編基本構想案を公表し改めて募集した結果、現段階で複数の事業者から相談を受けている。今後、事業者を選定し保育の量の確保に努める。

その他の質問

・観光交流人口の増大と公共の利益について

市長の保育園運営 失政の責任を問う



山本 和臣 議員

Q 眞野市長が保育園舎の耐震化を放置した結果、保育園運営方針の選択肢が狭められ関係する児童や保護者、地域住民に過度な不安や混乱、さらには確執を生じさせた責任を市長に問う。

A 園舎の耐震化については優先順位をつけ、効果的に対応している。

Q 市長が答ええないのは残念。予算はあるのに耐震化を放置すべきだったのではないか。

A 優先順位をつけて計画的に取り組む。

Q 優先順位も守られていない。この責任はどうか。

A 優先順位を守っており、責任はない。

Q 市長は市民に謝罪し、説明責任を果たすべきではないか。計画に基づき進める。

その他の質問

・廿日市の長期的財政運営の展望について

定例会議決結果

会 期：平成29年 2 月 16日～ 3 月 14日の27日間

3 月定例会の議案等のうち賛成・反対が分かれたものについて、各議員の賛否の状況をお知らせします。

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果	賛成(人)	反対(人)	1 向井 恵美	2 北野 久美	3 山口 三成	4 枇杷 木正伸	5 石塚 宏信	6 大崎 勇一	7 新田 茂美	8 中島 康二	9 山本 和臣	10 広畑 裕一郎	11 林 忠 正	12 田中 慶次	13 徳原 光治	14 山田 武豊	15 佐々 木雄三	16 井上 佐智子	17 欠 員	18 栗栖 俊泰	19 細田 勝枝	20 堀田 憲幸	21 砂田 麻佐文	22 高橋 みさ子	23 角田 俊司	24 岡本 敏博	25 有田 一彦	26 三分一 博史	27 植木 京子	28 小泉 敏信	29 仁井田 和之	30 藤田 俊雄		
3月14日	議案	17	廿日市市農業委員会の委員等の定数に関する条例	原案可決	27	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長		
		1	平成29年度廿日市市一般会計予算修正案	修正案否決	9	19	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	議長		
		1	平成29年度廿日市市一般会計予算原案	原案可決	23	5	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	議長	
		2	平成29年度廿日市市国民健康保険特別会計予算	原案可決	27	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	
		4	平成29年度廿日市市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	27	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	
	請願	3	所得税法第56条廃止を求める請願書	採択	22	6	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	議長	
		4	公立保育園の廃止・民営化に関する請願	不採択	9	19	○	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	議長	
		1	廿日市市新機能都市開発構想の事業化に関する請願	不採択	10	18	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	議長	
	議決	1	米海軍空母艦載機部隊及び夜間離発着訓練施設（NLP）の岩国基地移転に反対する意見書	原案可決	25	3	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
		3	所得税法第56条の廃止を求める意見書	原案可決	20	8	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長

〔表示例〕 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長職

公共施設マネジメント基本方針（議員全員協議会）

道路や水道等のインフラ施設も追加

25年度に策定した「廿日市市公共施設マネジメント基本方針」について、総務省から各自治体へ「公共施設総合計画」策定の要請を受け改訂を行います。

これまでの基本方針では、学校や市営住宅、社会教育施設等、建物施設が対象でしたが、道路・橋りよう、上下水道等のインフラ施設についても追加します。

期間は、25年度から64年度までの40年間で、必要な更新費用は建物・インフラ施設を合わせ3509億円と試算しています。

「総量の適正化（統廃合・複合化・適正供給）」、「長寿命化の促進」、「効率的かつ効果的な管理運営」を基本方針とし、建物施設は40年間で、総延べ床面積10万㎡、

約2割の削減を目標とし、集約化や複合化が難しいインフラ施設は、トータルコストの縮減で適正供給を図っていきます。

議員からの主な質疑

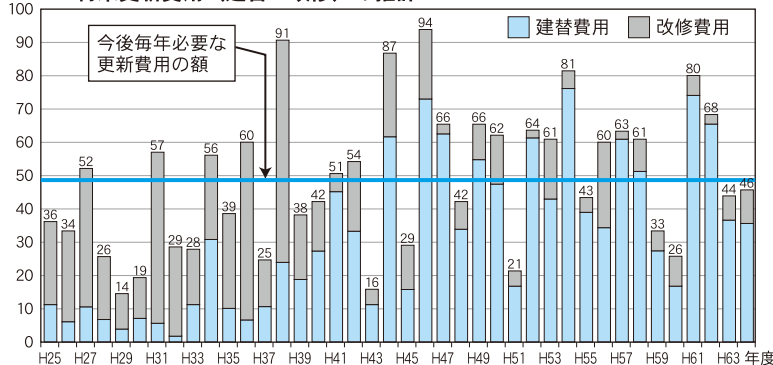
Q 40年間、年88億円かかる試算だが、財源確保は。

A 過去10年間の投資的経費は年51億円で、理論値だが年20数億円不足するため、総量削減が必要。

Q 削減ありきではなく、公共施設は市民の財産、地域をつくり、権利を守るものであることをしっかり位置づけるべきだ。

A 必要なのは施設なのか、機能なのか市民の声を聞き、機能は残しながら総量としては削減していく。

■将来更新費用（建替・改修）の推計



Q 新たな建物は作らないという基本方針には賛成だが、合併建設計画で約束したものは確実に実施を。合併建設計画の着実な実行に取り組みたい。

空家等対策計画（建設常任委員会）

危険空き家等の改善や撤去等を促進

国の「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、市内の空き家等の増加に対応し、対策を推進するための方針を定めるものです。

現時点での計画は、市内の空き家等の実態調査結果やアンケート調査を基に、対策の課題や目標について方針を定めます。また、危険空き家等の解消について、相談体制や除却等の支援について具体的な施策を定めます。

29年度は、引き続き空き家化の予防や活用促進を検討する予定です。

議員からの主な質疑

Q 倒壊の恐れのある35棟の地域別棟数は。

A 廿日市地域7棟、大野地域2棟、佐伯地域13棟、及び吉和地域13棟となっている。宮島地域については0棟であった。

Q 市内には廃墟となったホテルもあるが、対象となっているのか。

A 今回の調査は住宅系のみであり入っていないが、所有者には28年度中に文書で改善の通知をしている。

Q 解体したら固定資産税が高くなるので解体しないとのケースがあると聞くが、その対策は。

A ご指摘の点についても対策を検討したが、現状では地方税法どおりの対応となる。ご理解を得られるよう努力したい。

4つの請願を審査 2件の請願を採択

請願の第2・3号を採択し、発議で国へ意見書を提出

請願第1号

廿日市市新機能都市開発構想の事業化に関する請願

請願要旨

(1) 市は廿日市市新機能都市開発構想の事業化に関して、採算性や事業内容などの資料について情報開示と告知を市民に対して行うこと。

(2) 議会は市民の声を軽んじることなく、(1)の資料を基に慎重審議を行うこと。

(3) 市及び議会は本事業化に関する予算案や条例案等を審議・議決した際は、その議論の内容や議決態度などを詳細に市民に公表すること。

賛成討論

議会の責務を市民が求めており、採択すべき。

反対討論

議会が当然行うべきことであり、採択の必要はない。

賛成少数で「不採択」

請願第2号

障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書を国に提出するよう求める請願

請願要旨

(1) 障害児者が「暮らしの場」を選択できるようなグループホームや入所施設・通所施設などの社会資源を拡充し、福祉に携わる人材を確保すること。

(2) 緊急時の入所機能も備えた地域生活支援拠点を国の責任で整備すること。

(3) 前2項を実現するために、障害者関係予算を大幅に増額し、施策の重要な担い手になっている地方公共団体を財政的に支援すること。

全会一致で「採択」

請願第3号

所得税法第56条廃止を求める請願

請願要旨

憲法、そして男女共同参画推進の立場にも反する家族従事者の働き分を認めない「所得税法56条」を廃止するよう国に意見書を提出してください。

反対討論

法改正の必要性は認めるが、56条の改正だけでは適正な申告が行われなくなる可能性があり、慎重に対応すべきであるため採択すべきではない。

賛成討論

56条では、家族経営などの零細企業が白色申告しか選択できないなど、差別的な問題がある。税理士会や弁護士会も廃止を求めており、採択すべきである。

賛成多数で「採択」

請願第4号

公立保育園の廃止・民営化に関する請願

請願事項

(1) 保護者や市民が十分納得し、合意が得られるまでは、公立保育園の廃止・民営化をしないでください。

(2) 市行政に対し、「子育てのまち はつかいち」に値する構想の再提案を求めてください。

反対討論

12月に出された請願であり、その後、行政も対応をしている。委員会での審査では、構想の再提案の必要性は感じられず、採択すべきではない。

賛成討論

民営化への賛否を表明するものではなく、現時点で請願には12898名の署名が集められている。慎重審議を求める趣旨の請願であり、採択すべき。

委員会

賛成多数で「採択」
本会議

賛成少数で「不採択」

意見書3件を可決

3月14日の定例議会最終日、議員発議により提案された「米海軍空母艦載機部隊及び夜間離発着訓練施設（NLP）の岩国基地移転に反対する意見書」を、賛成多数により可決しました。

また、上記のとおり採択した請願を受け、2件の意見書を日程に追加して発議し、「所得税法56条の廃止を求める意見書」については賛成多数で可決し、「障害児者の生きる基盤となる『暮らしの場』の早急な整備を求める意見書」については全会一致で可決しました。

全会一致を除く賛否については、P15に掲載されています。

広報広聴特別委員会



次回 6 月定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13 本会議 (議案審議)	14 本会議 (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16 本会議 (一般質問)	17
18	19	20	21 委員会	22 委員会	23 委員会	24
25	26	27	28	29 本会議 (委員長報告等)	30	

9:30開会 (変更の場合があります)

議会を見学しよう。

廿日市市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁北側2階の議会事務局窓口までお越し下さい。

議会の動画を見よう。

廿日市市議会では本会議の様態をインターネットで録画配信しています。また、本会議開催中は本庁舎ロビー及び各支所で生中継を行っています。

校章紹介 四季が丘中学校



創立時の3年生が美術の授業活動でデザインしたものから選ばれたもの

議会に参加しよう。

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実状を訴え、適切な措置を要望することです。

編集 後記

広報広聴
特別委員会一同

市議会改選後、新広報広聴委員で初めて「さくら」の編集に取り組みました。今回は、発刊まで時間もなく、前委員の引継ぎの準備をもとに編集をしましたが、次号から現委員で、更に今まで以上に市民の皆様へ「わかりやすく」議会の議案の審議や市政の重要提案を掲載したいと思います。

「議会の見える化」に取り組んでいる廿日市市議会は、4年前から議会報告会を実施し、今期から傍聴者のために本会議場に大型モニターの設置など、市民目線での改革をしています。これからの広報「さくら」にも期待して下さい。

廿日市市議会ホームページ

廿日市市議会

検索